

阪神・淡路大震災

鉄道の被災と復旧の記録

- 兵庫県南部地震の規模と被害
- 地震が鉄道施設に与えた影響
- 鉄道の被害状況と開通状況
- 被災・復旧記録写真

震災文庫

13

24

社団法人／日本鉄道建設業協会 大阪支部





00095123441

ごあいさつ

この度の阪神・淡路大震災では、都市直下型地震の直撃により多数の死傷者、家屋など建造物の崩壊、ライフラインの途絶等々計り知れない被害を蒙りました。不幸にして犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、被災者の皆様には、一日も早く立ち直られることを念願致します。

陸海の交通手段も破壊、損傷を免れず、なかでも鉄道輸送機関はJR、私鉄、地下鉄等が到るところで寸断され、人と物の輸送が甚大な影響を受けました。私ども建設業界は地震直後いち早くこれら被災線区の復旧工事に従事し、破壊と混乱の極限状況下で要員や資機材を確保充当し、昼夜兼行で死にもの狂いの施工に取り組んで参りました。

その結果、JR西日本では東海道線（JR神戸線）が4月1日、山陽新幹線が4月8日、当初予想を大幅に繰り上げて無事全通し、その他の鉄道輸送機関も逐次部分開通を果たしながら、全面開通に向けて懸命に頑張っております。

当鉄建協大阪支部と致しましては、これらの各鉄道路線の被災及び復旧状況の推移を記録に留め、復旧工事に携わった会員各位の奮闘ぶりを関係方面のご高覧に供すべく本誌を製作致しました。

なお、編集を担当された各位ならびに写真の提供にご協力を賜った会員及び関係各位に厚く御礼申し上げて、私のご挨拶とさせていただきます。

平成7年6月

(社)日本鉄道建設業協会大阪支部
支部長 東田敏男

兵庫県南部地震の規模と被害

平成7年（1995年）1月17日5時46分、淡路島北部を震源とし兵庫県南東部一帯を含む都市直下型大地震が発生した。気象庁ではマグニチュード7.2、震源地からかなり広範囲で震度7（加速度400gal以上）の激震と発表した。神戸海洋気象台の観測記録によると、最大加速度は南北818gal、東西617gal、上下332galとされ、とくに断層付近では上下動が激しく、平素地震とは無縁と油断していたこの地域は想像を絶する規模の震災被害を蒙った。

●地震発生後2か月を経た3月17日の報道発表による被害状況

死者 5,490人 うち兵庫県5,469人

負傷者 約33万人（2月10日現在）

全半壊家屋 171千棟、259千所帯

避難所生活者 約9万人（当初32万人）

兵庫県の被害総額 約10兆円

うち、建築物 5.8兆円、港湾施設 1兆円、

ライフライン 5,700億円、高速道路 5,500億円、

鉄道 3,400億円、学校 3,400億円 等

なお、震災による死者はその後も増加し、5月中旬では5,502人となっている。

政府はこの大地震災害を阪神・淡路大震災と称することにした。

●地下の断層が確認された地点（※印）



(通産省地質調査所提供)

地震が鉄道施設に与えた影響

運輸省では大震災による鉄道施設の被害の大きさ、重大さから、被災鉄道施設の調査分析及び耐震構造の今後の在り方、方策などを検討するため、松本嘉司東京理科大学教授を委員長とし、有識者、鉄道事業者などで構成した「鉄道施設耐震構造検討委員会」を設置し、1月20日に第1回委員会を開催して以来、被災現場調査、委員会検討を重ねながら、鉄道施設の被災原因の探求、復旧計画の策定等を積極的に行ない、3月には早くも第1次中間報告を取りまとめて発表した。兵庫県南部地震による山陽新幹線の被害は主として高架橋の柱の損傷によって起っている。一般の地震動では、はじめ小さな縦の震動（P波）が来て、その後に横方向に大きな揺れ（S波）が作用し、続いて表面波（L波）が観測されるが、今回の地震では鉛直動が極めて大きく、かつ、この3つの波が同時に来襲している。このため、過大な水平力と鉛直方向の強い地震動により、柱は大きな曲げモーメント、剪断力を受け破壊したものと考えられる。したがって、このような地震に対しては、

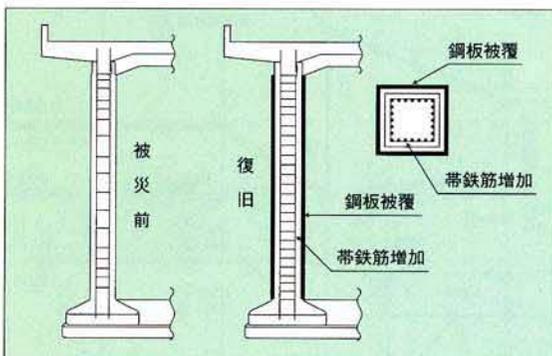
- ① 柱のコンクリートに損傷が出ないようにすること。
- ② 損傷が発生しても主鉄筋が大きく変形しないように拘束すること。

の2つの対策が必要である。このためには、柱の外方を鋼板で囲んで、鋼板と柱との間隙に無収縮モルタル等を充填することが最も効果的な工法である、とされた。

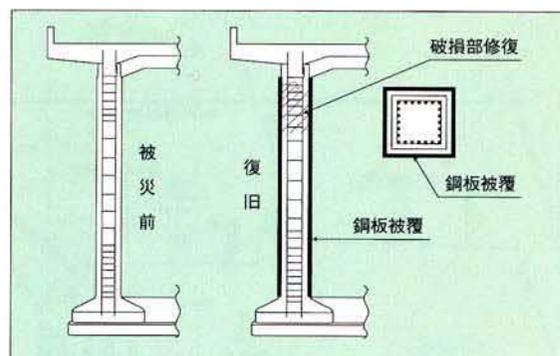
実際の高架橋は、様々な状態で崩壊しているのですが、それぞれの状況に適した工法を選定することが望ましいが、どのような状態のものでも、再度地震を受けても自立できるように復旧すべきである、との復旧に当たっての基本方針が、委員長所見として第1次中間取りまとめ前にも発表された。各建設会社では、事業主の指示指導のもとに、全社的な支援により、あらゆる機械力と労働力を集中的に投入し、一日も早い開通を目指して、不眠不休で懸命に取り組んだ。

● 修復計画概要図の一部

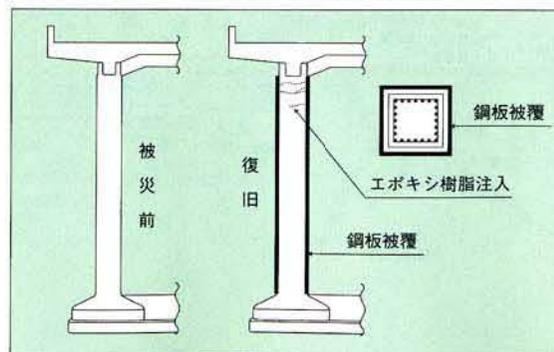
(1) 部材の破壊部を新設する場合



(2) 破損しているが、破壊に至っていない部材を修復する場合

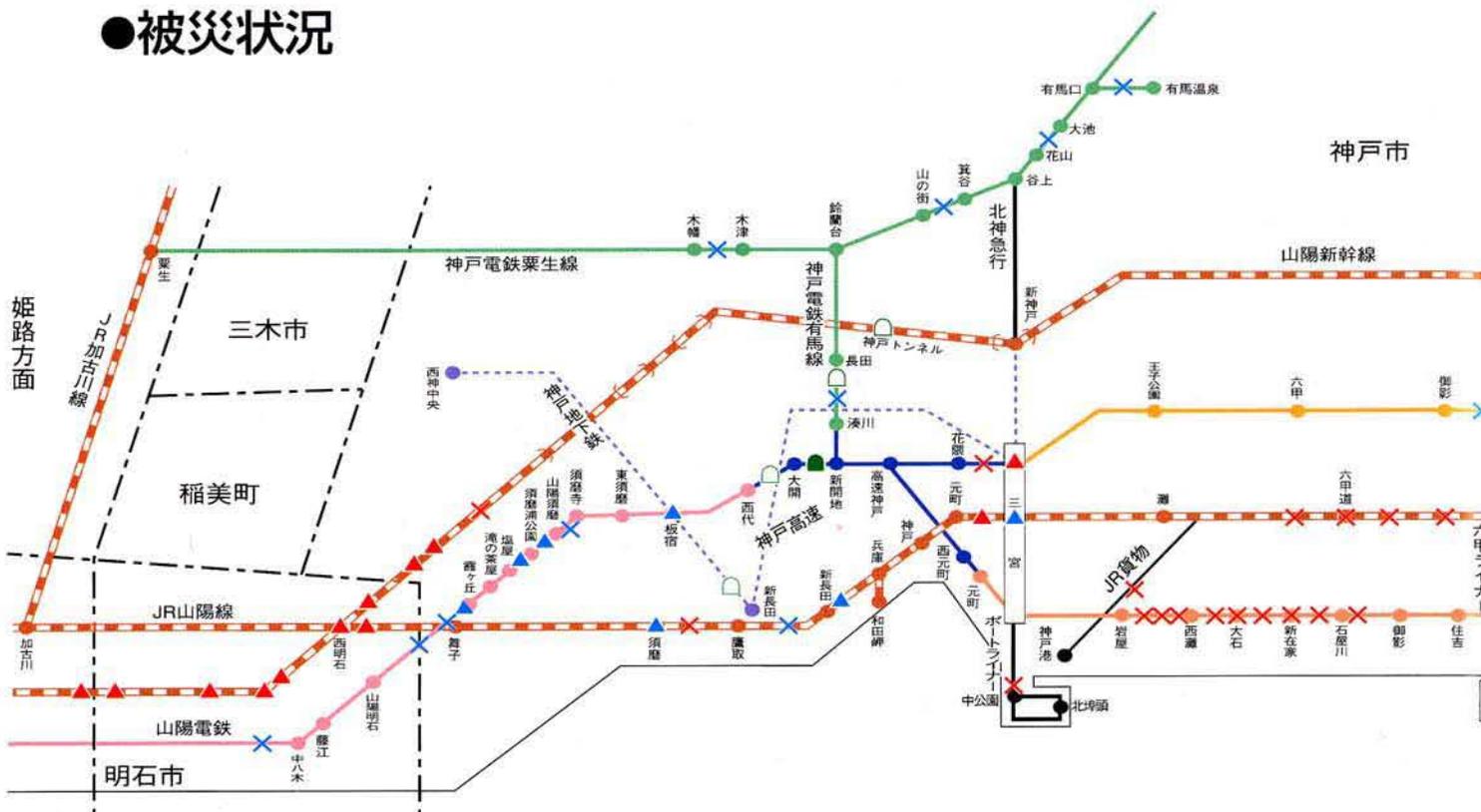


(3) 被災によるクラックなどを修復する場合



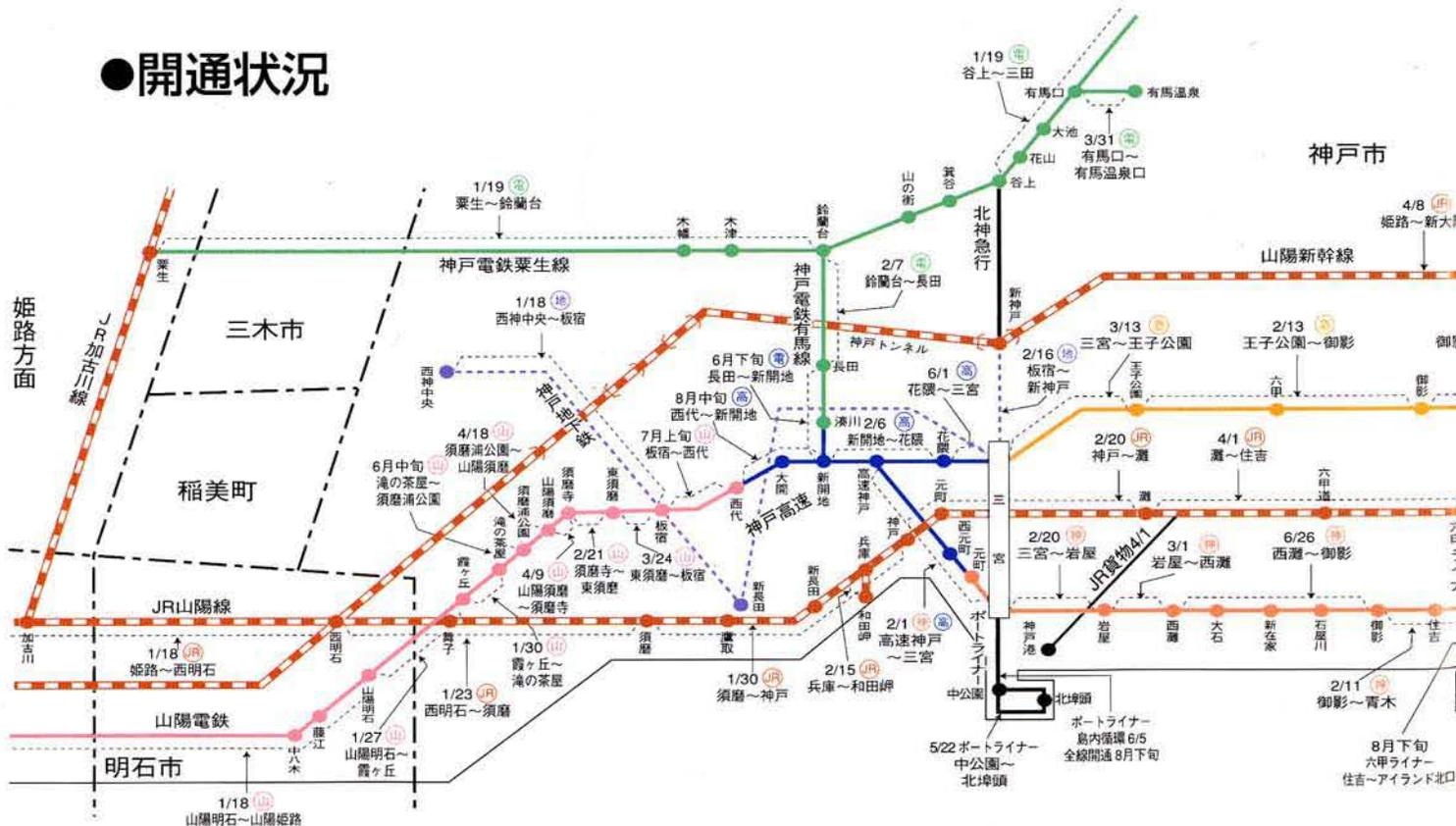
鉄道の被災状況と開通状況

●被災状況



震源地 X

●開通状況



●鉄道の被災状況と開通状況

不通区間と復旧見込み (5月31日現在)

◇阪神本線(御影～西灘)=6月26日◇阪急神戸線(西宮北口～夙川、岡本～御影)=岡本～御影は6月1日、西宮北口～夙川は6月12日◇神戸電鉄(湊川～長田)=6月22日◇山陽電鉄(滝の茶屋～須磨浦公園、板宿～西代)=滝の茶屋～須磨浦公園は6月16日ごろ、板宿～西代は7月上旬◇神戸高速(阪急三宮～花隈、新開地～湊川、西代～新開地)=阪急三宮～花隈は6月1日、西代～新開地は8月中、新開地～湊川は6月22日◇神戸新交通(ポートライナー=中公園～中埠頭～中公園の周回運転は6月5日、三宮～中公園は8月下旬)(六甲ライナー=住吉～アイランド北口=8月下旬)

凡例

- JR各線
- 私鉄・神戸新交通
- 地下鉄
- 落橋
- 高架橋・橋梁の損傷
- 盛土法面・擁壁の崩壊
- 駅ホーム・上家等の損傷
- トンネルの破壊
- トンネル覆工の損傷
- 阪急電鉄
- 阪神電鉄
- JR西日本・東海
- 神戸市営地下鉄
- 神戸高速鉄道
- 山陽電鉄
- 神戸電鉄



鉄道の被災状況と開通状況

●被災状況

大震災により各交通機関は随所で寸断され、鉄道各線、国道や高速道等の道路、港湾施設など殆どの交通機能が麻痺した。阪神間の鉄道網を形成する23路線が被災し、18路線約330kmの区間が運行不能となり、JRの新幹線及び在来各線、阪急電鉄各線、阪神電鉄本線、神戸高速鉄道、神戸電鉄、山陽電鉄、神戸市営地下鉄、神戸新交通（ポートライナー、六甲ライナー）の蒙った被害総額は約3,500億円と推計されている。

山陽新幹線は新大阪・姫路間で8か所の落橋、橋台橋脚及び高架橋の柱708本が損壊し、取替え新設が100本におよび、トンネル覆工も一部損傷するなど、新大阪・新神戸間にとくに被害が集中した。

在来線においても、芦屋・須磨間21kmの区間に集中し、六甲道駅を中心に高架橋、駅舎、路盤が損壊する大被害が発生した。高架橋の柱等も918本が損傷を受けた。

阪急電鉄は西宮北口・三宮間で橋桁が落下、高架橋1.6km間が倒壊した。又、伊丹駅では電車もろとも駅舎、高架橋が倒壊した。

阪神電鉄本線では、石屋川車庫（高架）をはじめ8か所の陸橋が落下し、2km間の高架橋の柱547本が損壊、路盤の擁壁、法面が崩壊し、復旧の見込みが立たないほどの大打撃を受けた。地下構造物は地震には比較的安全と考えられていたが、開削工法で施工した神戸高速鉄道の大開駅120m間で上下線の中間柱が剪断破壊座屈し、直上の道路も約3m陥没する衝撃的な被害が生じた。又、大開・西代間でも中間柱220本が損壊した。

各路線の被災状況は5・6ページの略図及び8・9ページの表の通りである。

なお、各路線では運行中の電車が脱線するなど、JRでは137両、阪急は92両、阪神は石屋川車庫の70両を含み126両が脱線し運転不能となった。

鉄道不通区間を補完するため、各社で代替バスが運行されたが、道路の交通渋滞も加わり、輸送力におのずから限界があった。

各鉄道事業者及び工事関係各社は逐次部分開通を行いながら全面復旧に向け日夜全力を挙げて取り組んでおり、JRでは4月1日に在来線、4月8日に新幹線の全通を果たした。

●鉄道輸送機関の被害額の推計（H7.3.10.現在 単位 億円）

JR西日本	1,200
JR貨物	40
阪急電鉄	660
阪神電鉄	700
神戸電鉄	150
山陽電鉄	70
神戸高速鉄道	380
神戸新交通	40
神戸市営地下鉄	200
計	3,440

凡例

- B ……橋梁
- Bℓ ……高架橋
- Bv ……架道橋
- Bo ……跨線橋
- Bi ……線路橋

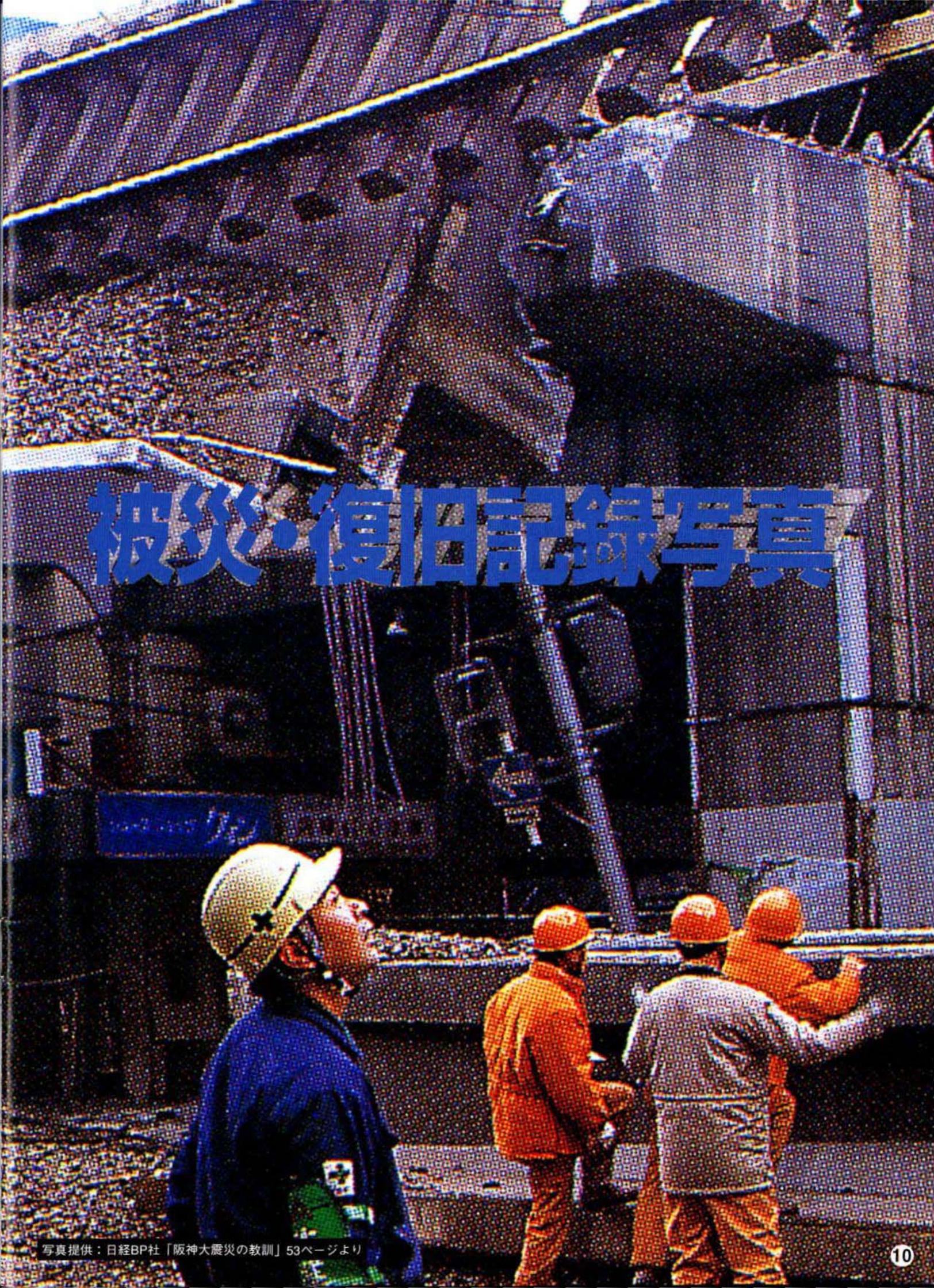
●主な被災状況

事業者・路線名	区 間	被害位置・名称	被害状況
JR東海 東海道新幹線	京都・新大阪間 新大阪・新神戸間	494k000～502k100 新大阪駅構内	高架橋柱損傷 橋桁横ずれ2か所
JR西日本 山陽新幹線	新大阪・新神戸間	尼崎市内下食満Bℓ 伊丹市内第1野間Bℓ 尼崎市内時友Bℓ 武庫川B 西宮市内阪水Bℓ 西宮市内松林寺Bv 西宮市内阪急今津線Bi 西宮市内神呪Bℓ 第1加島Bℓ 外11か所 下食満Bℓ 外15か所 六甲トンネル 新神戸駅 神戸トンネル外 神戸市内伊川B 神戸市内明石川B 第2鳥羽Bℓ 外14か所 西明石駅Bv 西明石西部Bℓ 外3か所 藤江Bℓ 外16か所	高架橋落橋3径間2層 高架橋落橋3径間1層 高架橋落橋3径間異形 橋脚損傷、橋桁ずれ 高架橋落橋3径間2層 落橋 橋桁落橋 高架橋落橋 橋桁ずれ、沓損傷 橋桁、高架柱損傷 クラック及び一部損傷 ホーム桁ずれ クラック及び一部損傷 落橋・橋台倒壊 橋脚損傷 橋脚・高架柱損傷 橋桁ずれ 橋脚・高架橋損傷
東海道線	新神戸・西明石間 西明石・姫路間 大阪・神戸間	甲子園口駅 芦屋駅 芦屋川Bo 六甲道駅 住吉・灘間2.2km 三ノ宮駅 三ノ宮・神戸間	ホーム上下線変状 ホーム擁壁倒壊、橋桁ずれ 橋脚損傷 橋上駅舎損壊、上下ホーム・上家倒壊 橋梁・高架橋落橋 ホーム上家・ホーム変状 高架柱損傷 加納町架道橋を含む
山陽線	神戸・西明石間	新長田駅 新長田・鷹取間 鷹取・須磨間 須磨駅 明石・西明石間 西明石駅 中山寺駅 川西池田・宝塚間	駅舎・ホーム上家損壊、ホーム変状 擁壁・盛土法面崩壊 阪神高速道路跨線橋損傷 本線支障 駅舎変状 橋桁ずれ 下りホーム陥没 ホーム・上家倒壊 高架柱・防音壁損傷 電化柱・橋桁等一部変状
福知山線	大阪・宝塚間		
その他線区	関西線・大阪環状線		
JR貨物 臨港線		東灘信号場・神戸港間	路盤陥没、法面崩壊
阪急電鉄 神戸線	梅田・西宮北口間	神崎川・園田間 武庫川B両岸	路盤陥没 路盤陥没、法面崩壊

鉄道の被災状況と開通状況

●主な被災状況

事業者・路線名	区 間	被害位置・名称	被害状況
阪急電鉄 神戸線	西宮北口・三宮間	南郷山架道橋 中殿・大井町間1.6km 夙川駅 岡本・御影間 三宮駅 伊丹駅	橋桁落下 高架橋倒壊 ホーム変状 擁壁・法面崩壊 駅ビル損壊 駅部高架橋損壊 路盤陥没2か所 桁ずれ 路盤陥没2か所 新幹線・国道171号線橋桁落下 線路支障 路盤陥没 路盤陥没、法面崩壊
伊丹線 宝塚線 今津線 甲陽線	中津・三国間 豊中・蛍池間 今津・西宮北口間 西宮北口・宝塚間 苦楽園口・甲陽園間	千里川橋梁外1 仁川駅	
阪神電鉄 本線	芦屋・深江間 青木・魚崎間 魚崎・住吉間 御影・石屋川間 石屋川・西灘間 新在家・大石間	芦屋西陸橋 魚崎町陸橋付近 中道陸橋、東明陸橋 塚の前陸橋 石屋川車庫 陸橋	橋台・橋脚損傷 盛土法面崩壊 盛土擁壁崩壊 桁ずれ 高架車庫損壊 桁落下8か所 高架橋損壊
神戸電鉄 有馬線 粟生線	湊川・長田間 山ノ街・箕谷 花山・大池間 木津・木幡間	東山トンネル坑口付近 東山トンネル 箕谷Bv付近 貝出口Bv付近 木津B付近外1	擁壁・切取法面崩壊 覆工亀裂・剥落 路盤陥没 路盤陥没 路盤陥没
山陽電鉄 本線	西代・電鉄明石間 中八木・江井ヶ島間	板宿駅 須磨寺・須磨間 塩屋駅 霞ヶ丘駅 霞ヶ丘・舞子公園間 西舞子・大蔵谷間 谷八木B付近	ホーム変状 擁壁崩壊 ホーム・駅舎損壊 ホーム変状 路盤陥没 擁壁崩壊 路盤陥没
神戸高速鉄道 東西線	三宮・新開地間 新開地・大開間 大開・西代間	三宮・花隈間 大開駅	高架橋損壊 駅部損壊 中間柱損傷
神戸新交通 ポートライナー 六甲ライナー		三宮南300m付近 住吉駅2番線 アイランド北口駅	桁落下、桁ずれ 桁落下、桁ずれ 桁ずれ
神戸市営地下鉄 山手線		新長田駅	地下ボックスカルバート変状
大阪市営地下鉄 御堂筋線		江坂駅	高架橋柱損傷



被災・復旧記録写真

CONTENTS

写真目次

JR西日本

山陽新幹線（新大阪・姫路間）	12
JR神戸線（大阪・明石間）	30
阪急電鉄	42
阪神電鉄	44
神戸電鉄	47
神戸新交通	48
神戸高速鉄道	49

地震発生とともに、建設業界は各事業者の要請を受け直ちに復旧施工態勢に入った。現場とその周辺的环境は破壊と混乱の異常事態の中で、従事者一同は日夜不眠不休で頑張った。

着工当初は、道路の損壊、規制、渋滞により人的物的輸送手段が失われ、通信も途絶状態であった。更に、水や食料の補給、事務所や宿泊設備の確保、安全衛生対策、資機材の調達等なにもかもが欠如していた。

かかる限界状況下で、各自使命感と責任感に燃えて渾身の努力を傾注し、建設陣営の実力を発揮した。

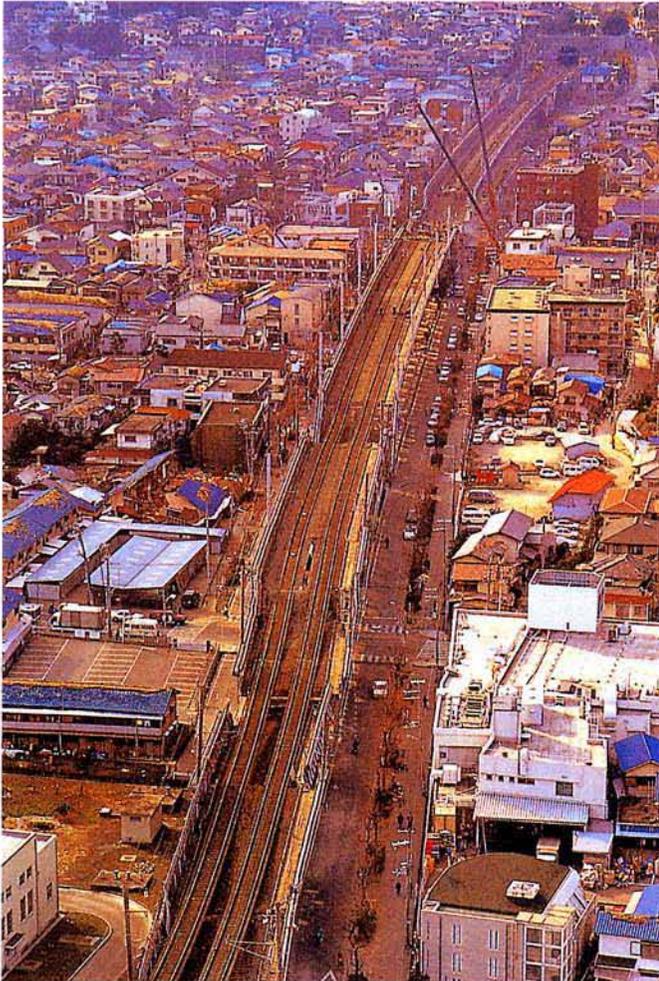
交通機関の全面回復にはなお時日を要するが、いち早く全通の運びとなったJR西日本においては、復旧工事に尽力した施工会社に対し感謝状を贈呈してその労をねぎらった。

以下の写真は、鉄道復旧工事に尽力した建設会社の健闘の記録である。



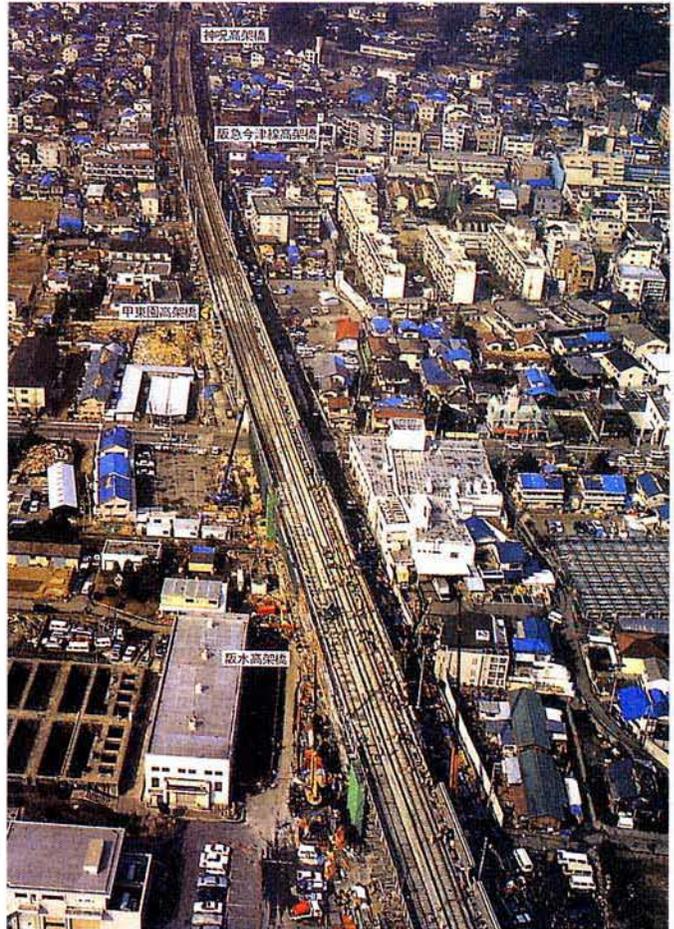
JR神戸線六甲道駅付近上下4線を同方向に走行する試運転機関車群

●被災時・復旧時の航空写真と試運転写真



落橋等の被害が集中した西宮市内の高架橋
上方は六甲トンネル東口

※写真提供：日経BP社
日経コンストラクション 2-24号 57ページより



復旧工事完了間近

※写真提供：日経BP社 日経コンストラクション 4-14号 49ページより



山陽新幹線伊丹市内を
走行中の試運転列車。

●尼崎・伊丹市内①



高架橋柱の被害状況

第3神崎B 0

ラーメン高架橋の柱が被害を受け、コンクリートが剥落する損傷を受けた。
被害部分を修復、鋼板で被覆補強した。



鉄筋を補強修復中



鋼板巻完了

●尼崎・伊丹市内②



高架橋の被害状況

善法寺B ①

高架橋の柱が損傷。鋼板で巻立て無収縮モルタル打設復旧補強した。

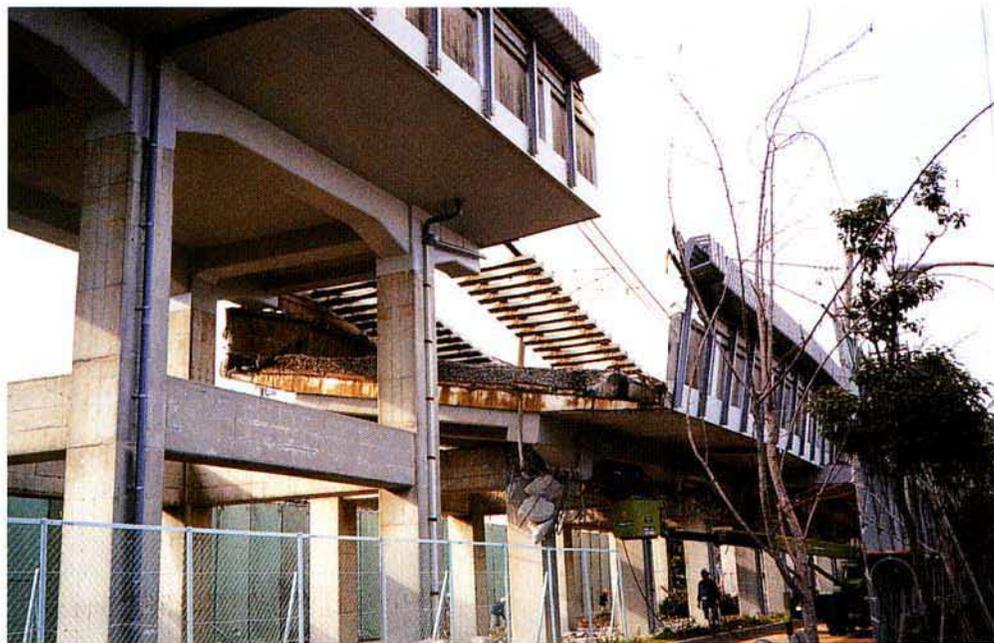


鋼板巻復旧工事中



完了

●尼崎・伊丹市内③



下食満B 0
高架橋（3径間2層）の柱
が破壊落橋した。
床版部をジャッキアップ、
柱を新設し、鋼板巻補強、
復旧した。

高架橋柱の被害状況



床版部ジャッキアップ復旧工事中



復旧完了間近

●尼崎・伊丹市内④



猪名寺Bv

ラーメン橋台の柱が損傷、桁の横ずれ、脊の損傷を受けた。桁を仮受けし、脊の補修、柱の修復、鋼板巻による補強。

橋台の損傷点検中



桁の仮受け工事中



鋼板巻完了

●尼崎・伊丹市内⑤



野間B0

高架橋2ヶ所の落橋があり、ジャッキアップにてスラブを扛上させ、柱を復旧後鋼板巻を行い補強を行った。

スラブ落橋状況



ジャッキアップ



鋼板巻完了

●尼崎・伊丹市内⑥



時友B ②

高架橋（3径間2層）の柱が損壊し床版部が落橋破損した。全体を取り壊し撤去後新設復旧した。

新設した柱は鋼板巻で補強した。

高架橋の落橋 取り壊し状況



床版部のコンクリート打設中

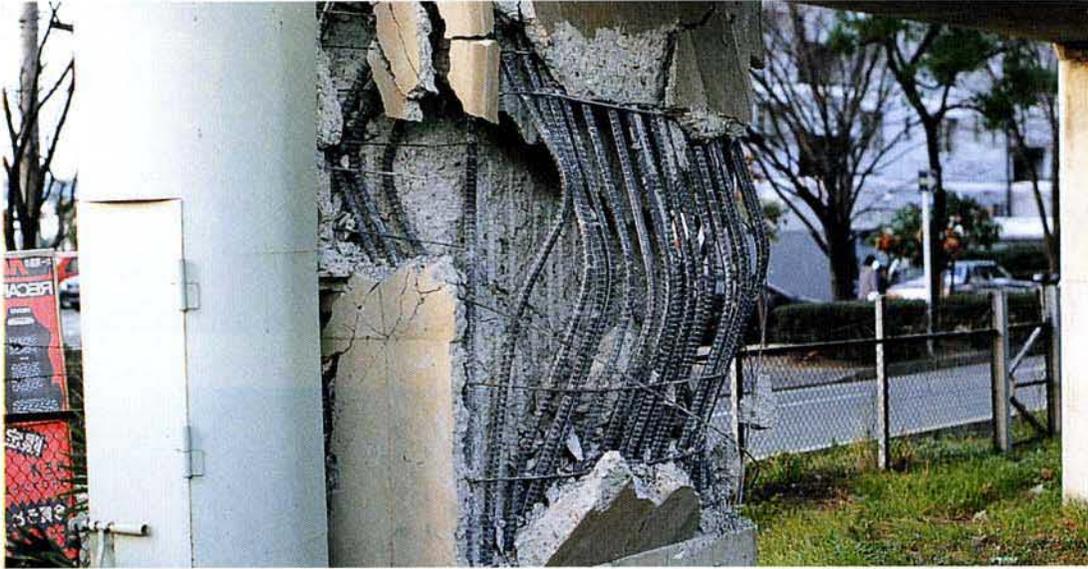


鋼板巻完了

●尼崎・伊丹市内⑦

第1常松Bv

橋台（ラーメン構造）が被害国道171号線上のPC桁落橋の恐れがあり、桁を仮受け後ジャッキアップし、橋台を復旧補強した。



橋台の柱、損傷状況



PC桁仮受け、橋台復旧中

●武庫川橋梁



橋脚の被害状況

武庫川B（PC桁）

各橋脚が過大な水平、鉛直両方向の地震動により被災した。

損傷部を修復の上、鉄筋コンクリートで外巻補強し、さらに鋼板で覆い復旧した。



鋼板巻工事中



鋼板取付中



鋼板巻完了

●西宮市内①



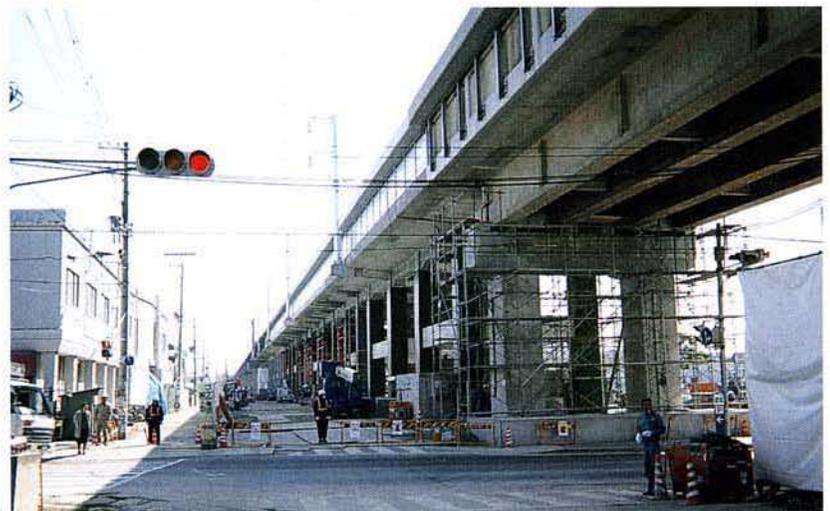
阪水B線

高架橋（3径間2層）の柱部が4ブロック破壊し落橋した。柱を切断、ジャッキアップ仮受け又はクレーンにより吊り上げ仮受けし、柱を新設、補強し復旧した。

柱が倒壊し、2層の高架橋が1層のように見える。



床版部を仮受け復旧工事中

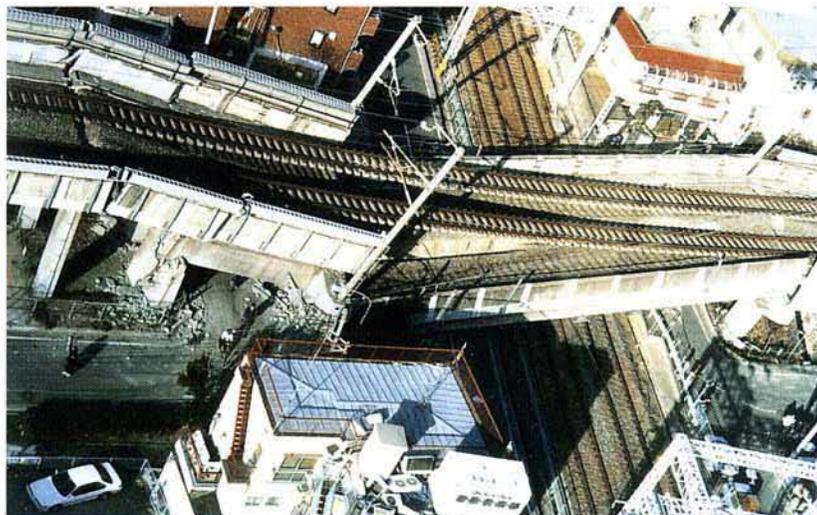


復旧完了

JR西日本

山陽新幹線（新大阪・姫路間）

●西宮市内②



阪急今津線Bi

PC桁（ $l=29m$ ）が阪急今津線上に落下、運転に支障した。PC桁を主桁1本ずつに切断。吊り上げ仮受けをした後、橋台を取り壊し再構築、桁も再締結し、復旧した。

PC桁が線路上に落下 橋台の損壊状況



主桁の仮受け工事中



完了

●西宮市内③



神呪B線

高架橋及び桁が落橋、柱を新設、鋼板巻で補強復旧した。

高架橋の落橋状況



桁の落橋状況



鋼板巻及び橋脚の復旧中

●神戸・明石市内①

伊川B

橋台（ラーメン構造）が倒壊しPC桁（ $l=40m$ ）及び単版桁落下した。PC桁はステージングで仮受けジャッキアップし橋台を取り壊し新設した。単版桁は吊り上げ補修再使用した。



橋台の倒壊状況



橋台復旧工事中（鉄筋組み）



復旧完了

●神戸・明石市内②

第1、第2、第3吉田Bv
 桁が横ずれし沓が破損した。
 桁の移動据付、沓の取替で復旧した。



沓の破損状況（第3吉田Bv）



桁の横移動中（第2吉田Bv）

●神戸・明石市内③



柱の損傷状況

藤江B₂

高架橋（3径間2層）の柱が損傷し、コンクリートが剥落した。損傷部を補修及びエポキシ樹脂注入、鋼板巻により補強復旧した。



床版部を仮受け 柱の補修中



復旧完了

●神戸・明石市内④



柱上部の被害状況

西八木B線
高架橋の柱上部が損傷、鉄筋が露出し
帯筋が破断した。
床版部を仮受けし復旧補強した。



補修工事中



鋼板巻完了

●西明石駅



西明石駅
駅構内のPC桁、合成桁等の横ずれ、
及び橋脚、高架橋の柱の損傷。

桁ずれに伴うホームの損傷状況



合成桁復旧工事



復旧完了後のホーム状況

JR西日本

山陽新幹線（新大阪・姫路間）

●軌道工事と試運転



軌道復旧工事 六甲トンネル東口付近



山陽新幹線伊丹市内を走行中の試運転列車

●芦屋駅付近①



芦屋駅

ホーム及びホーム上家損壊
仮ホームを仮設、開通後、本復旧。

ホームの被害状況



仮ホーム工事中



復旧完了

● 芦屋駅付近②

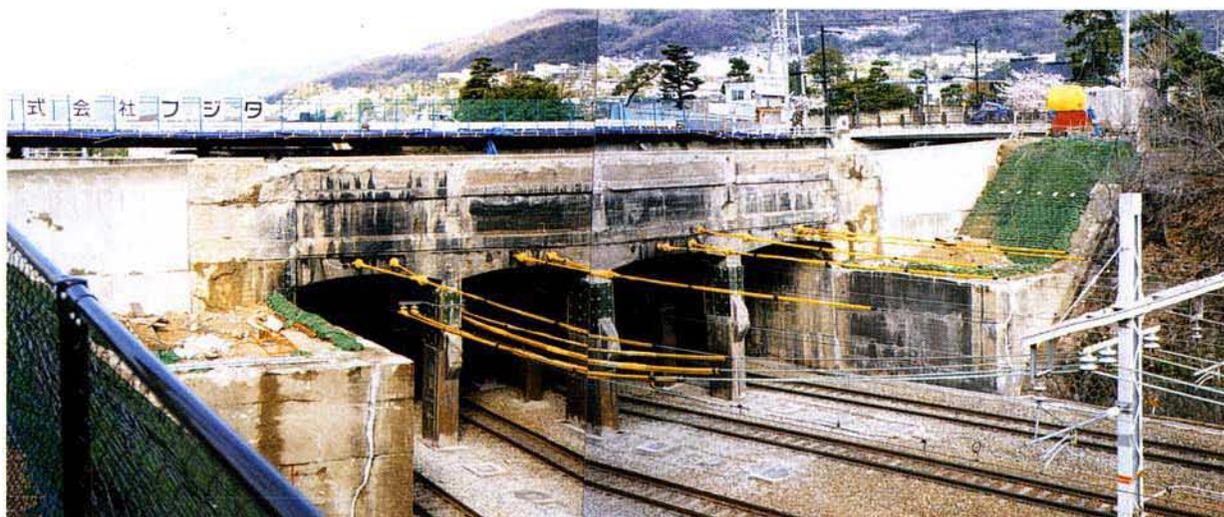


芦屋川Bo
橋台橋脚被害、運転支障する。

橋台擁壁の被害状況



復旧工事中



復旧完了

●住吉・灘間 御影付近①



PC桁落下状況

延長約400mにわたり、高架橋柱上部の
損傷及びPC桁の落下が生じた。



高架橋被害状況



PC桁架設中



仮受け中



PC桁架設完了



鋼板巻補強完了

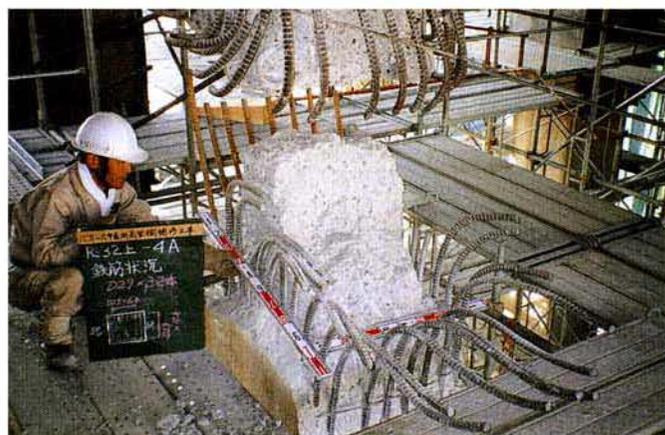
●住吉・灘間 御影付近②



スラブ及び軌道の被害状況



高架橋柱の損壊状況



高架橋柱の損壊



スラブ仮受け復旧中



高架橋復旧中

●住吉・灘間 御影付近 ③



高架橋床版部の吊上げ（クレーン350トン吊）



柱鉄筋の組立状況



鋼板巻補強完了



鋼板巻補強完了

●住吉・灘間 永手町付近

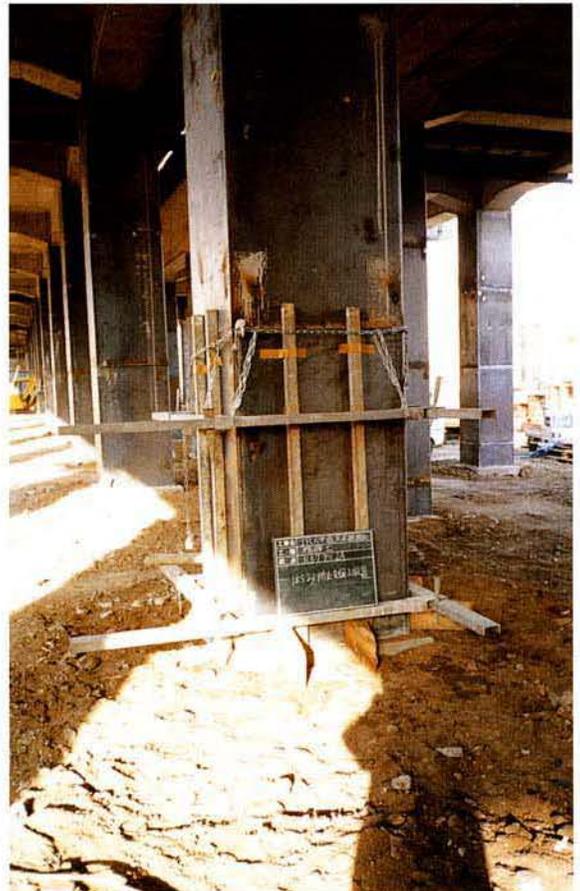
鋼製支保工を組み、スラブをジャッキアップし、柱の鉄筋補強を行い、鋼板を巻いて無収縮モルタルを打設。



高架橋の被害状況



高架橋スラブ仮受け復旧中



高架橋柱の鋼板巻完了

●住吉・灘間 穂原町付近



被害状況



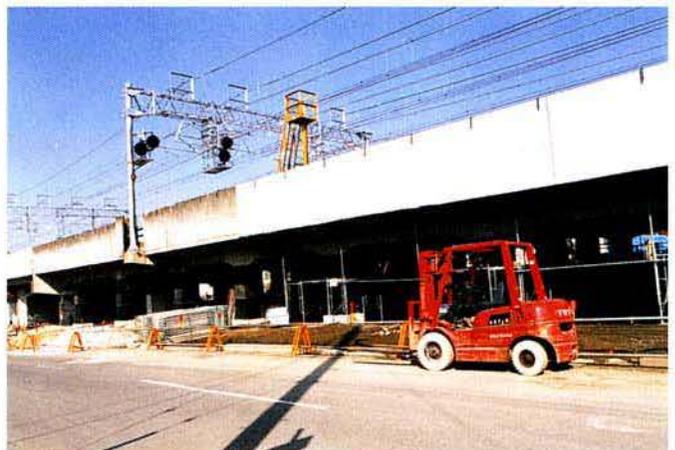
被害状況



仮ベントにて応急復旧



上床版、ジャッキアップ状況



復旧完了

●六甲道駅 ①



被害直後のホームと軌道の状況

六甲道駅はラーメン高架橋の柱が圧壊して軌道及びホームが落下。高架橋の下の駅舎やテナントを撤去し、高架橋全体を打上、復元補強した。なお駅舎は仮設で開業。



駅部高架橋の被害状況



高架橋打上復旧中

●六甲道駅 ②



高架橋床版仮受け復旧中



鋼板巻完了



ホーム、上家、軌道復旧完了



駅部復旧完了後の全景

●三宮・元町間



高架柱上部の破損状況

高架下にテナントの建物があり、損傷の大きい山側については、テナント建物を撤去し、高架橋柱の復旧を行った。



柱、鋼板巻施工中



鋼板巻完了

●鷹取駅付近



鷹取工場付近の被害状況



同左上



鷹取・須磨間 阪神高速道路橋損壊により
山陽線支障



同左上 仮受け復旧中

●軌道工事と試運転



八頭油圧タイタンバーによるつき固め作業



二頭式油圧通り直し器による大通り直し



スラブ軌道 床版の樹脂注入



スラブ軌道
床版の樹脂注入



六甲道駅付近上下4線を同方向に走行する試運転機関車群

阪急電鉄

伊丹線

●阪急伊丹駅付近



伊丹駅は損壊が大きく、仮駅を新設して3月11日より開業した。

駅舎の崩壊状況

※写真提供：日経BP社

「日経コンストラクション2-24号」67ページより



復旧工事中



仮駅ホーム完成

阪急電鉄

神戸線

●西宮北口・夙川間



高架部分が100mにわたって倒壊



夙川駅付近落橋状況

※写真提供：東洋地質調査株式会社
「兵庫県南部地震（阪神大震災）」被害調査速報63ページより



復旧工事中



復旧工事中



復旧工事中

阪神電鉄

本線

●石屋川駅付近と石屋川車庫①



被災直後の状況



桁落下状況



ホームの崩壊状況

●石屋川駅付近と石屋川車庫②



高架橋撤去完了状況



新設高架の鉄筋・型枠組立中



石屋川車庫の被害状況

※写真提供：毎日新聞社

阪神電鉄

本線

●新在家駅付近

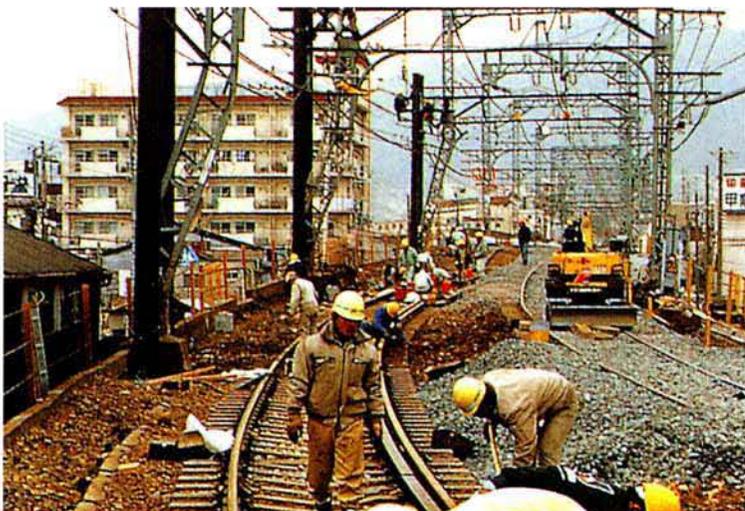


被災直後の状況



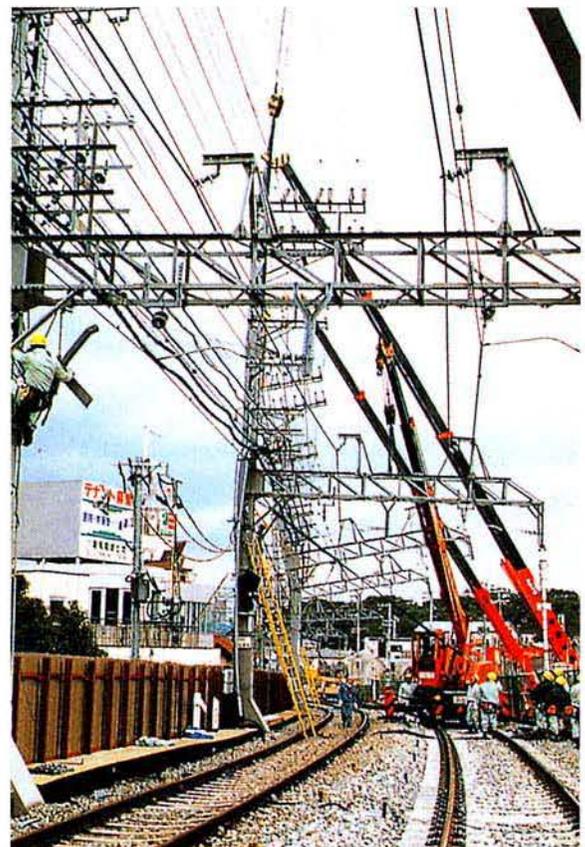
高架橋解体中

●軌道工事及び架線工事



復旧工事中（軌道）

※写真提供：阪神電気鉄道株式会社 社内報No.183 1995臨時号より



復旧工事中（架線）

※写真提供：同左

●有馬線



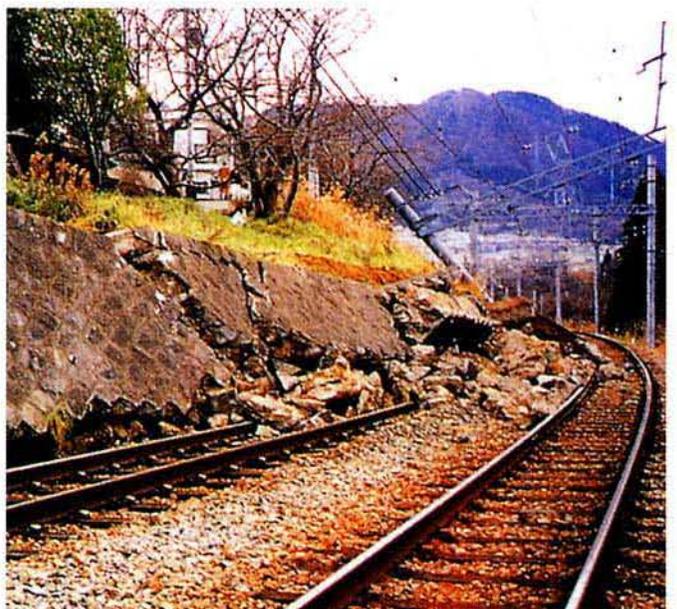
湊川・長田間 東山トンネル坑口の災害状況



湊川・長田間 法面崩壊の状況



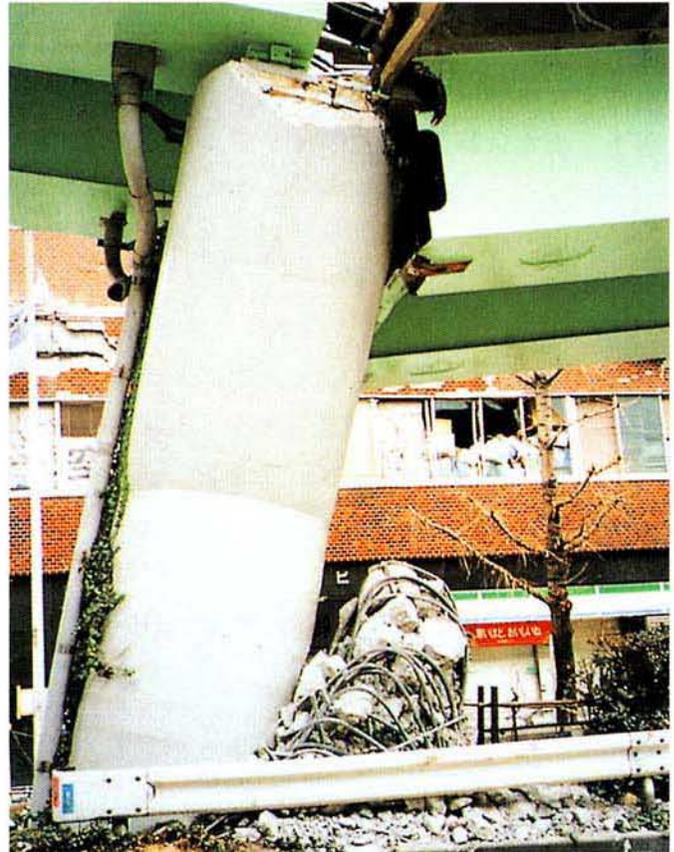
湊川・長田間 法面崩壊の状況



花山・大池間 法面崩壊の状況

※写真提供（このページ全て）：社団法人日本鉄道施設協会
日本鉄道協会誌 1995/3号より

●ポータルライナー三宮駅付近



橋脚の被害状況



橋脚の被害状況

※写真提供（2点とも）：東洋地質調査株式会社
「兵庫県南部地震（阪神大地震）」被害調査速報 60ページより

神戸高速鉄道

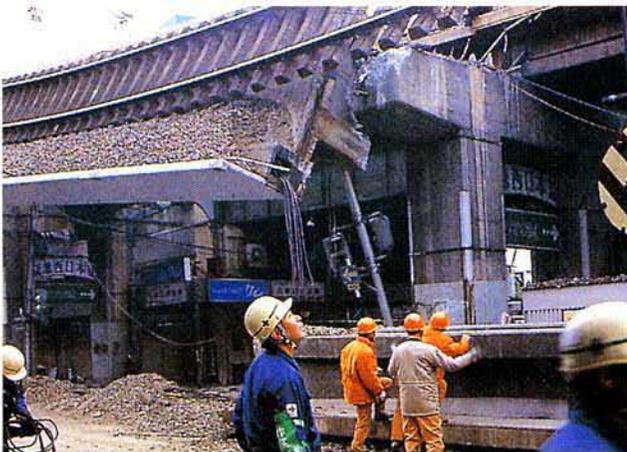
●三宮・花隈間

三宮・花隈間では橋桁が2スパンにわたって落下、または転倒した。



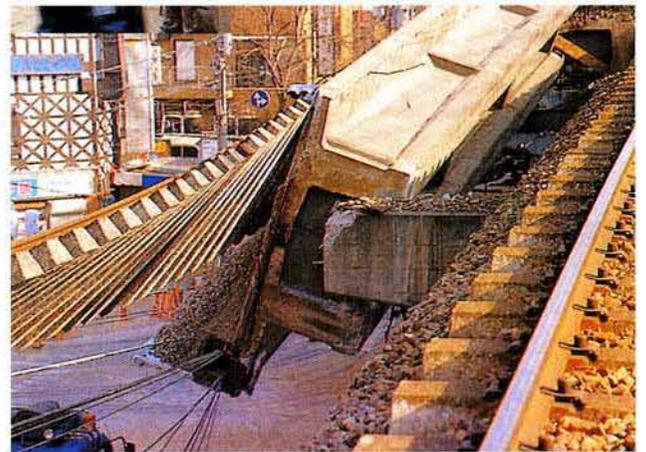
三宮・花隈間被害状況

※写真提供：日経BP社
「日経コンストラクション2-24号」68ページより



復旧工事中

※写真提供：日経BP社
「阪神大震災の教訓」53ページより



PC桁の転倒状況

※写真提供：日経BP社
「日経コンストラクション2-24号」68ページより

●大開駅

120mにわたって駅舎が崩壊。土被り4.8mの天井スラブが陥没した。



地下部、中間柱の被害状況

※写真提供：東洋地質調査(株)
「兵庫県南部地震(阪神大震災)」
被害調査速報66ページより



地表部の陥没状況

※写真提供：同左

編集後記

阪神大震災に伴う鉄道各線の被災及び復旧状況を、記録写真集に編纂し、会員はじめ関係方面のご高覧に供することを計画したのは、地震発生後2か月余、各線とも逐次部分開通を果たしながら、当面の応急復旧から本復旧に向けて懸命に工事を急いでいる最中のことでした。

速報を意図するものではないにせよ、すべてが終わってから製作に取りかかるのでは時宜を失することにもなりかねないため、関係各位の協力を得ながら、鉄建協大阪支部の事業活動の一環として取り組むこととなりました。

編集並びに写真撮影収録は専門家の手によるものでないため、満足な出来栄にはほど遠い作品ですが、我々のモニュメントとして取り組んだ当事者の熱意と努力をもって諒として頂きたいと存じます。又、表現、用語の不統一についてもご了承を頂きたいと思えます。

ご協力を頂いた各位に厚く御礼申し上げます。

(文責 鉄建協大阪支部 事務局長 松田邦英)

1.写真提供

大林組、奥村組、鹿島建設、熊谷組、鴻池組、五洋建設、佐藤工業、清水建設、銭高組、大成建設、大鉄工業、鉄建建設、東亜建設工業、戸田建設、西松建設、間組、フジタ、三井建設、森本組の会員各社
川上勲、新居田正孝、早坂秀夫、三杉茂胤、宮内儀良の各氏

2.写真転載

社団法人日本鉄道施設協会 日経BP社 阪神電気鉄道株式会社 東洋地質調査株式会社 読売新聞社 毎日新聞社 各転載写真にキャプションにて紹介

3.編集委員

山田悦朗、川上勲、高戸進、橋本信郎、早坂秀夫、三杉茂胤の各氏

4.製作印刷

関西廣濟堂